



鈴峰中だより

令和3年11月26日

第20号

<http://www.edu.city.suzuka.mie.jp/jhreiho>

鈴鹿市立鈴峰中学校

11月16日 鈴峰中学校区小中交流人権コンサート開催



「知ろうとするより感じてほしい」をテーマに



久しぶりに大勢で素敵な音楽を楽しみました。「ラモシオン」の垣内章伸（かきうちあきのぶ）さんと楽守（らも）さんは、ギターとパーカッションで国内外を回り、演奏活動をされている親子デュオです。この日は、心深く響くオリジナル曲に親しみやすい曲を交えたステージで、「大徳さん」ことお父さんのトークと楽守さんとの掛け合いに、楽しみ、学ぶ温かく豊かな時間でした。



鈴峰中生の前に、校区4小の6年生。各校学校運営協議会の方も一緒に。



庄内小6年生の人が、舞台上でも一緒に歌ってくれました。会場からは自然に大きな拍手が沸き起こりました。

今年度は中学校区全体でネットワークづくりの事業に取り組んでいます。コンサートもその一環として、校区の4つの小学校の6年生と担任の先生、校長先生に加えて、それぞれの学校の学校運営協議会委員の方々が鈴峰中生と一緒に参加されました。高橋生徒会長は、結びの挨拶で『知ろうとするより感じてほしい』のテーマに触れ、「コンサートを通じてそれぞれに感じたことがあったかと思います。その思いを大切に、みんなで一緒に温かい学校、温かい地域を作っていきます。12月に開く『子どもフォーラムれいほう』で、小学生も中学生も一緒になって人権について語り合える日を楽しみにしています。地域の皆様もぜひお越しいただき、また一緒に素敵な時間を共有したいと思います。」と述べました。

コンサートで演奏された曲「宝くじ号」はオンラインでも配信されています。



小学校の校長先生方が正門前で、出迎えてくださいました。

2学期 期末テスト



定期テストの初日に、保護者や先生による一斉登校指導を実施しています。寒くなるこれからは、一層気を付けて。交通安全を意識してください。



11月18日

校区特別支援学級交流会



校区の特別支援学級の仲間が一堂に集まりました。まだ市全体の行事が再開されていない中では貴重な交流の機会です。自己紹介や名刺交換に始まり、球技などのレクリエーションで体を動かし楽しみました。地域の先輩にあたる中学生の皆さんは、お迎えする側としていつも以上の笑顔で対応をし、小学生の皆さんにも安心してもらえたのではないのでしょうか。これからもこのような機会を大切に、つながりをもっと深めてゆきたいと思います。

11月17日

公開研究授業 - 2年生 -

- 2年生 -



実技教科での成果

〈体育〉
創作ダンスの発表
を行いました。



〈家庭〉
調理実習（まずは短時間
で）を実施しました。

